

日本医史学雑誌 第55巻 総目次

原 著

- Cookery, Diet and District Nursing in late Nineteenth-Century London
 Yuriko AKIYAMA 3
- 風土病マラリアはいかに撲滅されたか
 ——第二次大戦後の滋賀県彦根市—— 田中 誠二, 杉田 聡
 安藤 敬子, 丸井 英二 15
- 近世大坂における回生術と産科学 内野 花 31
- 京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績, 業績
 ——第3報 著書について—— 廣谷 速人 43
- 「関格」名義変遷攷 小高 修司 57
- 仏教文献に見られる呪術的療法の伝統について
 ——概説—— 山中 行雄, 山下 勤 77
- 『善那余話』からみた東京国立博物館ジェンナー像建立の経緯 深瀬 泰旦 291
- 王念孫『素問新語易林合韻譜』と銭超塵『素問合韻譜』 林 克 303
- 明治初頭日本における医療技術の移入・受容過程
 ——外科器具「イクラセウル」と「焼灼電気器」を中心に—— 月澤美代子 317
- 和田正長の残した『杉山真伝流』全巻の検証 大浦 宏勝, 市川 友理 329
- 共慣義塾の研究
 ——東京検梅史の補遺として—— 中西 淳朗, 樋口 輝雄 347
- 高杉晋作の主治医 石田精一について
 ——変革期草医の「雅」と「侠」—— 亀田 一邦 411
- 東京市養育院「回春病室」設置時期の再検討
 ——「1899年」説は正しいか? —— 平井雄一郎 427
- 光田健輔と「回春病室」という記憶
 ——設置時期はなぜ明言されえなかったのか? —— 平井雄一郎 445
- 『全体新論』に掲載される解剖図の出典について 松本 秀士, 坂井 建雄 463
- 近世後期における「伝染病」学説
 ——「市川橋本伯寿著断毒論一件」の分析を通じて—— 香西 豊子 499
- 明治初期の衛生政策構想
 ——『内務省衛生局雑誌』を中心に—— 竹原 万雄 509

研究ノート

- 台湾における近代医学に影響を与えた日本人
 ——産婦人科の場合—— 王 敏 東 521

シンポジウム「森林太郎と森鷗外」

1. “統計論争”をとおしてみた森林太郎
——シンポジウムへの導入をかねて—— 岡田 靖雄 97
2. 森林太郎の医学大業績
——臨時脚気病調査会の創設とその成果—— 山下 政三 101
3. 森鷗外と「北游日乗」,「北遊記」
——函館,青森を中心として—— 松木 明知 104
4. 森鷗外と医学留学生たちの交流 山崎 光夫 108

ひろば

- 仏教における内科疾患..... 杉田 暉道 365
 仏教における外科疾患..... 杉田 暉道 369
 石龍子と相学提要..... 中山 茂春 371

資 料

- 池田文書の研究(36) 池田文書研究会 377

追 悼

- 追悼 小石秀夫先生..... 酒井 シヅ 529
 中西淳朗先生を悼む..... 荒井 保男 531

記 事

消 息

- 2008 日中張仲景学説交流会シンポジウム 松岡 尚則, 別府 正志
 頼 建守, 山口 秀敏 111

- 例会記録..... 112, 387, 533

例会抄録

- 医療倫理教育と『信頼される歯科医師Ⅱ』 関根 透 113
 馬醫の祖“伯楽”と“伯楽鍼経”の展開..... 亀谷 勉 114
 マリー・キュリー夫人と放射能研究に殉じた最初の日本人研究者・山田延男
 ——日仏修好150周年に因んで—— 山田 光男 115
 ナイチンゲール伝染病論の社会性..... 友松 憲彦 387
 慢性胃炎の歴史
 ——我われは何故ピロリ菌を発見できなかったのか—— 多賀須幸男 389
 在ドイツ森林太郎あて書簡にみる帝国大学医科大学事情..... 岡田 靖雄 533
 仏教思想と穢れとの関係..... 杉田 暉道 535
 森鷗外と原田直次郎..... 荒井 保男 536

書籍紹介

新村拓著『日本医療史』……………	瀧澤 利行	117
片桐一男著『それでも江戸は鎖国だったのか——オランダ宿 日本橋長崎屋——』 ……………	中西 淳朗	118
『杏雨書屋所蔵 医家肖像集』通覧抄……………	田中 祐尾	390
カール・ヴィーニンゲル著, 植木絢子訳 『知られざる科学者ペッテンコーフェル——環境医学の創始者——』 ……………	青木 国雄	392
杉田米行編『日米の医療——制度と倫理——』……………	渡部 幹夫	395
篠田達明著『戦国武将の死生観』……………	杉浦 守邦	397
吉元昭治著『日本全国神話・伝説の旅』……………	高山真一郎	398
安室芳樹著『切手で綴る医学の歴史』……………	山之内外一	399
兵頭晶子著『精神病の日本近代——憑く心身から病む心身へ——』……………	昼田源四郎	400
瀬上恭子著『バイオ・コリアと女性の身体 ——ヒトクローンES細胞研究「卵子提供」の内幕』……………	杉山 章子	402
宮入慶之助記念誌編纂委員会編 『住血吸虫症と宮入慶之助——ミヤイリガイ発見から90年——』 ……………	Alexander Bay	537
小泉和子編著『家で病気を治した時代——昭和の家庭看護——』……………	平尾真智子	539
岩間眞知子著『茶の医薬史——中国と日本——』……………	鈴木 達彦	540
医史学関係文献目録 (平成19年, 2007年)……………	順天堂大学医史学研究室編	227
投稿規定……………		120, 284, 404, 542
編集後記……………		122, 286, 406, 544

第110回 日本医史学会総会 演題目次

会長講演

幕末から明治期佐賀の指導医たち ——お雇い外国人医師を含めて——……………	前山隆太郎	133
------------------------------------------	-------	-----

特別講演 I

佐賀藩医 相良知安とドイツ医学……………	相良 隆弘	135
----------------------	-------	-----

市民公開講演

基調講演

落語のなかの幕末医療人……………	三遊亭竜楽	139
------------------	-------	-----

特別講演Ⅱ

- 先見の人 佐野常民 福岡 博 140

特別講演Ⅲ

- 全国へ広がった佐賀の種痘 青木 歳幸 142

一般演題

- 1 江戸時代, 温泉水の化学分析の進展について 大沢 眞澄 143
- 2 上方蘭学者 吉雄元吉の「遠西奇水拔萃」について
..... ミヒェル・ヴォルフガング 144
- 3 帆足萬里の顕彰記念会について 寺畑 喜朔 145
- 4 佐倉藩の種痘の事跡 酒井 シヅ 146
- 5 種痘医 松本文斎について 古西 義麿 147
- 6 中島友玄の「種痘諸事留」
——岡山県邑久郡における江戸後期～明治初期の種痘の変遷——
..... 中島 洋一, 木下 浩 148
- 7 文政7年(1824)佐賀における麻酔手術
——華岡門人 井上友庵の事例—— 青木 歳幸 149
- 8 江戸時代の体重管理と養生 鈴木 則子 150
- 9 渋江家所蔵の史料と鷗外の「渋江抽斎」 松木 明知 151
- 10 「千住の鷗外碑」建立される 木村 繁 152
- 11 宮入慶之助——日本住血吸虫中間宿主の発見 宮入源太郎 153
- 12 済生学舎講師 石川清忠と女子医学生教育
..... 志村 俊郎, 唐澤 信安, 殿崎 正明, 岩崎 一, 寺本 明 154
- 13 藩閥政治の日本医学校に与えた影響
——日本医学校創立者 山根正次校長と苦難の学校経営——
..... 岩崎 一, 唐澤 信安, 殿崎 正明, 志村 俊郎 155
- 14 藩閥政治から見た済生学舎廃校の真の原因:
山県有朋, 池田謙斎, 入沢達吉との関係 殿崎 正明, 唐澤 信安,
岩崎 一, 志村 俊郎 156
- 15 岩手県金ケ崎町(城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区)より
輩出せる明治女医2名 福嶋 正和 157
- 16 「陸軍軍医学校防疫研究報告」Ⅱ部(その三)
——鼠と蚤とペスト菌の関連論文の分析—— 蒔 昭三 158
- 17 戦後占領期における感染症報告の方法
..... 田中 誠二, 杉田 聡, 安藤 敬子, 丸井 英二 159
- 18 戦後沖縄の保健・医療行政
——その3 琉球政府の成立過程—— 杉山 章子 160
- 19 豆腐小僧と天然痘について 竹原 直道 161
- 20 若狭小浜の霊場小澤寺における滝治療 對馬 秀子 162

21	わが国における精神科ソーシャルワーカーの黎明（その2）	橋本 明	163
22	肥前療養所の伊藤正雄 ——精神科病院全面開放の先駆者——	岡田 靖雄	164
23	『ドン・キホーテ』にみる保護の三つの型について	小曾戸明子	165
24	「日本におけるコレラ流行報告」について ——明治初期の米国人によるコレラ報告——	松村 紀明	166
25	[高血圧が脳卒中の最大危険因子] の認識	西村 謙一	167
26	わが国における第二次大戦前のインフルエンザ超過死亡 ——スペインかぜ以前と以後——	逢見 憲一	168
27	1960年代の日本における人工水晶体の開発経過について	園田 真也	169
28	明治16年（1883）に東京府が行った整骨師、入歯師等の調査について	樋口 輝雄	170
29	解剖学書における解剖図の類型と歴史の変遷.....	坂井 建雄	171
30	明治初頭日本における医療情報の伝達・普及・定着 ——皮下注射法を中心に——	月澤美代子	172
31	筋弛緩薬の変遷 ——発見から臨床応用までの140年を追って——.....	高田 敦子	173
32	岩国市芦山家に伝わる婦人臓図について II	片岡 勝子	174
33	顕微解剖学の歴史，三浦梅園が愛用した木製顕微鏡.....	島田 達生	175
34	シルヴィウスによるヴェサリウス批判についての検討.....	澤井 直	176
35	近代整形外科学の先駆者，レオポルド・オリエ（1830-1900）の 業績と生涯	小林 晶	177
36	『劉涓子鬼遺方』の鍼灸について	宮川 隆弘	178
37	『医学天正記』異本類の比較研究	天野 陽介，小曾戸 洋	179
38	『医道日用綱目』の版種について	野澤 隆幸，天野 陽介，小曾戸 洋	180
39	戦前の雑誌『医道』について	渡辺 浩二，小曾戸 洋，星野 卓之，天野 陽介，花輪 壽彦	181
40	「緒方春朔文書」の考察	西巻 明彦	182
41	江戸考証医家の蔵書目録について.....	木場由衣登	183
42	『杉山流三部書』の成立経過について	大浦 宏勝，市川 友理	184
43	『熙載録』の鍼法	鶴田 泰平	185
44	山田図南と千金方——千金方から傷寒論序文を考える——	松岡 尚則，山下 幸一，栗林 秀樹，牧角 和宏， 岡田 研吉，山口 秀敏，別府 正志	186
45	『傷寒論』における煎液の量と服用量に関する問題	石 珏，鈴木 達彦，遠藤 次郎	187

46	馬王堆出土『五十二病方』にみられる薬の作り方の意義	遠藤 次郎, 鈴木 達彦	188
47	古代日本の出産における白色.....	内野 花	189
48	歯科外科医シュバリエ・ラスピーニのビジネス.....	水谷惟紗久	190
49	N. S. コロトコフの系譜	藤倉 一郎	191
50	ロンドン外科学史瞥見 ——ジョン・ハンターと王立外科医協会——	佐藤 裕	192
51	ロイヤル・ロンドン病院の創設と発展.....	柳澤 波香	193
52	医科器械に対する橋田邦彦の見解.....	勝井 恵子	194
53	オランダ大使ヴァン・グーリック博士と解馬新書.....	松尾 信一	195
54	石龍子と相学提要 ——筑後久留米藩で最初に解剖をした医師 酒井義篤が病相を担当執筆——	中山 茂春	196
55	佐賀出身江戸初期の医傑・向井元升(1609~1677)・ 貝原益軒の主治医・去来の父	木村専太郎	197
56	陸軍衛生隊編制に向けた“担架卒”の成立過程.....	鈴木 紀子	198
57	北清事変期の医療と看護——広島陸軍予備病院を例として——	千田 武志, 坂村 八恵, 岡本 裕子, 隅田 寛	199
58	北清事変期の広島陸軍予備病院における外国人傷病者の医療と看護	隅田 寛, 岡本 裕子, 坂村 八恵, 千田 武志	200
59	山本良吉著『看護婦の心得』にみる看護倫理観と 明治後期の看護界の状況	上坂 良子, 水田真由美	201
60	プランゲ文庫史料による占領下日本における医療・看護の 社会的活動の分析(1).....	大石 杉乃	202
61	『大正新脩大藏経』の仏教教典にみる「看護」の文字の使用 ——中華電子仏典協会の電子テキストから——	平尾真智子	203
62	高木兼寛の健康教育観に関する研究(第4報) ——臨時教育会議での女子教育改善に関する発言内容から——	芳賀佐和子, 平尾真智子, 蝦名 総子	204
63	ペリー来航後に平野重誠が著した救急書『軍陣備要救急摘方』(1853)	中村 節子, 平尾真智子	205
64	ポンペの眼科とボードウィンの眼科.....	山之内卯一	206
65	中国伝統医学と道教(第29回 甲骨文).....	吉元 昭治	207
66	岡西為人『宋以前医籍考』の校訂出版にあたって.....	郭 秀 梅	208
67	通行本『崔氏脈訣』と原書『玄白子西原正派脈訣』との異同について	吉岡 広記	209
68	『啓迪集』の書誌研究	小曾戸 洋, 町 泉寿郎, 天野 陽介	210
69	『小右記』の鍼灸	寺川 華奈	211

70	『素問玄機原病式』素問玄機原病式例の研究	中川 俊之	212
71	薛己の用いた隔物灸	上田 善信	213
72	天理図書館所蔵の明刊本『素問糾略』について	長野 仁	214
73	韓国国立中央図書館の古医籍	真柳 誠	215
74	米国カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校医学部図書館所蔵の 日本古医書の概要	梶谷 真司	216
75	Yale 大学 Cushing 図書館 Fry Collection の漢方刷り物について	渡部 幹夫	217
76	北米国立医学図書館に所蔵する日本古医書（善本類を中心に）	町 泉寿郎	218
誌上発表			
77	『沙石集』の中の身体に関わる表現	計良 吉則	219
78	江戸中期の鍼灸における腹部診察と施術について	山崎 陽子	220
79	北宋以前の漢籍に見える『内経』経文	橋本 典子	221
The 110th General Meeting of the Japan Society of Medical History			222